

2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年4月15日

上場会社名 横浜ライト工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1452 URL <https://www.y-wright.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浜口 伸一
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 石川 勝之 (TEL)045(355)5500
 定時株主総会開催予定日 2021年5月28日 配当支払開始予定日 -
 発行情報提出予定日 2021年5月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期の業績(2020年3月1日~2021年2月28日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	1,754	△28.3	25	△85.2	39	△80.2	36	△71.2
2020年2月期	2,448	△16.2	173	△4.1	198	△4.8	126	△5.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	771.82	-	4.1	2.3	1.5
2020年2月期	2,679.40	-	15.8	12.0	7.1

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 - 百万円 2020年2月期 - 百万円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注2) 当社は、2019年5月31日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	1,752	900	51.4	19,041.17
2020年2月期	1,680	865	51.5	18,303.38

(参考) 自己資本 2021年2月期 900百万円 2020年2月期 865百万円

(注) 当社は、2019年5月31日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	146	△134	149	563
2020年2月期	231	△158	△92	402

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2021年2月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2022年2月期(予想)	0.00	0.00	0.00	-	-	-

3. 2022年2月期の業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,060	17.4	59	131.9	65	68.3	41	14.7	885.22

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期	50,000株	2020年2月期	50,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期	2,700株	2020年2月期	2,700株
③ 期中平均株式数	2021年2月期	47,300株	2020年2月期	47,300株

(注) 当社は、2019年5月31日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度は、世界的に新型コロナウイルス感染が拡大し、日本の感染者数は欧米諸国よりも少ないとはいえ、日本経済への影響は想像以上に大きく、各界において今後の見通しが不透明な状況が未だに続いております。

建設業界におきましても、再開発工事などの継続事業はあるものの、この新型コロナウイルス感染の拡大および長期化に伴い、諸事業再検討によって建設工事の一時中断、延期あるいは建設計画そのものの中止等が想定以上に多く発生いたしました。

この様な事業環境の中、当社は、業界の動向に大きく影響を受けて売上高は前事業年度を大きく割り、外注費等工事原価の低減化、その他経営の合理化など諸施策を行いました。売上高及び利益減少の補填には至らず、かつ、新型コロナウイルス感染予防対策のための諸費用も膨らみ、最終的に当期純利益は極めて厳しい結果となりました。

当事業年度の当社の経営成績は、売上高は1,754,959千円(前年同期比28.3%減)、営業利益は25,763千円(同85.2%減)、経常利益は39,184千円(同80.2%減)、当期純利益は36,507千円(同71.2%減)となりました。

なお、当社の事業セグメントは杭抜き事業の単一セグメントのため、セグメント別の業績は記載しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、1,752,550千円となり、前事業年度末と比較して72,122千円の増加となりました。この主な要因は、以下のとおりであります。

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末比99,067千円増加して1,082,543千円となりました。この主な変動要因は、現金及び預金の増加167,470千円、受取手形の減少24,388千円、完成工事未収入金の減少76,335千円、未収還付法人税等の増加25,215千円等であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末比26,524千円減少して669,131千円となりました。この主な変動要因は、機械及び装置の減少15,251千円、車両運搬具の減少11,816千円、投資有価証券の減少17,439千円等であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末比108,355千円減少して356,593千円となりました。この主な変動要因は、工事未払金の減少40,086千円、未払法人税等の減少49,283千円等であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末比145,580千円増加して495,309千円となりました。この主な変動要因は、長期借入金の増加171,816千円、社債の減少21,000千円等であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末比34,897千円増加して900,647千円となりました。この主な変動要因は、当期純利益の36,507千円等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前事業年度末と比較して161,460千円増加し、563,732千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とこの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、146,044千円（前年同期は231,477千円の獲得）となりました。この主な要因は、税引前当期純利益50,497千円、減価償却費159,881千円、売上債権の減少額100,723千円、工事未払金の減少額40,086千円、法人税等の支払額91,599千円等が生じたこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、134,128千円（前年同期は158,485千円の使用）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出140,873千円等が生じたこと等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は、149,544千円（前年同期は92,595千円の使用）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入240,000千円、長期借入金の返済による支出68,160千円、社債の償還による支出21,000千円等が生じたこと等によります。

(4) 今後の見通し

次年度の日本経済は、各界とも未だ新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けると想定されるものの、建設業界においては当事業年度（2020年3月1日～2021年2月28日）から延期現場が多々動き出す兆しが見え始めており、中には大型案件も見え隠れしております。

当社におきましては、技術部の新設により、杭抜き後の埋戻し材の研究、地盤調査サービス等も進展させており、ゼネコン各社や材料メーカーから共同開発などのお声を多くいただいております。杭抜き技術の信頼性を強固にするために大いに貢献すると考えております。

収束が未だ見えない新型コロナウイルス感染は続いており、建設の延期、中止を視野に入れながらも、営業力を充実させ施工技術をより向上させることによって、関東圏に限らず延期現場を多数受注することを、さらに大型案件の成約獲得を目指して努力してまいります。

以上の見通しにより、当社の次期業績予想につきましては、売上高2,060百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益59百万円（同131.9%増）、経常利益65百万円（同68.3%増）、当期純利益41百万円（同14.7%増）と見積もっております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の諸情勢及び国内企業の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、検討を進め対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当事業年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	527,541	695,012
受取手形	34,588	10,200
完成工事未収入金	407,644	331,309
未成工事支出金	3,528	—
前払費用	6,648	10,200
未収還付法人税等	—	25,215
その他	3,524	10,606
流動資産合計	983,476	1,082,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	39,948	40,375
機械及び装置 (純額)	377,562	362,310
車両運搬具 (純額)	33,170	21,353
工具、器具及び備品 (純額)	9,056	10,381
土地	122,373	129,359
建設仮勘定	6,750	892
有形固定資産合計	588,860	564,672
無形固定資産		
ソフトウェア	21	3,130
ソフトウェア仮勘定	2,862	—
その他	295	295
無形固定資産合計	3,178	3,425
投資その他の資産		
投資有価証券	46,360	28,921
出資金	30	40
従業員に対する長期貸付金	440	200
長期前払費用	2,670	2,251
その他	54,116	69,619
投資その他の資産合計	103,617	101,032
固定資産合計	695,656	669,131
繰延資産		
社債発行費	1,295	875
繰延資産合計	1,295	875
資産合計	1,680,428	1,752,550

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当事業年度 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	247,810	207,723
1年内償還予定の社債	21,000	21,000
1年内返済予定の長期借入金	70,792	70,816
未払金	27,875	19,549
未払費用	998	1,716
未払法人税等	51,484	2,201
預り金	3,603	9,154
賞与引当金	8,280	7,024
その他	33,104	17,407
流動負債合計	464,949	356,593
固定負債		
社債	52,500	31,500
長期借入金	216,770	388,586
繰延税金負債	69,832	65,893
その他	10,626	9,330
固定負債合計	349,728	495,309
負債合計	814,678	851,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,000	33,000
利益剰余金		
利益準備金	1,200	1,200
その他利益剰余金		
別途積立金	20,000	20,000
特別償却準備金	181,554	165,716
繰越利益剰余金	643,727	696,072
利益剰余金合計	846,481	882,989
自己株式	△ 13,382	△ 13,382
株主資本合計	866,099	902,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 349	△ 1,958
評価・換算差額等合計	△ 349	△ 1,958
純資産合計	865,749	900,647
負債純資産合計	1,680,428	1,752,550

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高		
完成工事高	2,408,498	1,709,279
その他の売上高	39,977	45,680
売上高合計	2,448,476	1,754,959
売上原価		
完成工事原価	2,005,066	1,464,991
その他の売上原価	17,003	18,279
売上原価合計	2,022,069	1,483,271
売上総利益	426,406	271,688
販売費及び一般管理費	252,601	245,924
営業利益	173,805	25,763
営業外収益		
受取利息	526	163
受取家賃	3,213	3,099
受取保険金	28,198	6,375
スクラップ売却益	2,165	3,336
補助金収入	—	2,000
その他	571	2,897
営業外収益合計	34,675	17,873
営業外費用		
支払利息	2,302	1,767
支払保証料	469	364
減価償却費	735	726
手形売却損	353	1,206
上場関連費用	6,000	—
その他	578	388
営業外費用合計	10,439	4,453
経常利益	198,041	39,184
特別利益		
固定資産売却益	1,177	11,312
特別利益合計	1,177	11,312
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前当期純利益	199,219	50,497
法人税、住民税及び事業税	93,000	17,100
法人税等調整額	△ 20,516	△ 3,109
法人税等合計	72,483	13,990
当期純利益	126,736	36,507

【完成工事原価報告書】

(単位：千円)

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		当事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
I 材料費		189,817	9.5	96,100	6.6
II 労務費		260,607	13.0	273,441	18.7
III 外注費		1,002,719	50.0	568,659	38.9
IV 経費		550,563	27.5	523,261	35.8
当期総工事原価		2,003,707	100.0	1,461,463	100.0
期首未成工事支出金		4,887		3,528	
合計		2,008,595		1,464,991	
期末未成工事支出金		3,528		—	
当期完成工事原価		2,005,066		1,464,991	

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算を採用しております。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
			別途積立金	特別償却準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	33,000	1,200	20,000	233,739	464,806	719,745	△13,382	739,363
当期変動額								
当期純利益					126,736	126,736		126,736
特別償却準備金の取崩				△52,185	52,185	-		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	△52,185	178,921	126,736	-	126,736
当期末残高	33,000	1,200	20,000	181,554	643,727	846,481	△13,382	866,099

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△460	△460	738,902
当期変動額			
当期純利益			126,736
特別償却準備金の取崩			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	111	111	111
当期変動額合計	111	111	126,847
当期末残高	△349	△349	865,749

当事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位: 千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	利益 準備金	利益剰余金			利益 剰余金 合計	自己株式	
			その他利益剰余金					
			別途 積立金	特別償却 準備金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	33,000	1,200	20,000	181,554	643,727	846,481	△13,382	866,099
当期変動額								
当期純利益					36,507	36,507		36,507
特別償却準備金 の積立				31,680	△31,680	-		-
特別償却準備金 の取崩				△47,518	47,518	-		-
株主資本以外の 項目の当期変動 額 (純額)								
当期変動額合計	-	-	-	△15,838	52,345	36,507	-	36,507
当期末残高	33,000	1,200	20,000	165,716	696,072	882,989	△13,382	902,606

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△349	△349	865,749
当期変動額			
当期純利益			36,507
特別償却準備金 の積立			-
特別償却準備金 の取崩			-
株主資本以外の 項目の当期変動 額 (純額)	△1,609	△1,609	△1,609
当期変動額合計	△1,609	△1,609	34,897
当期末残高	△1,958	△1,958	900,647

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	199,219	50,497
減価償却費	178,229	159,881
賞与引当金の増減額 (△は減少)	292	△ 1,256
受取利息	△ 526	△ 163
支払利息	2,302	1,767
固定資産売却損益 (△は益)	△ 1,177	△ 11,312
固定資産除却損	0	—
売上債権の増減 (△は増加)	△ 178,818	100,723
未成工事支出金の増減 (△は増加)	1,359	3,528
その他の資産の増減額 (△は増加)	16,467	△ 6,126
工事未払金の増減 (△は減少)	98,727	△ 40,086
未払金の増減 (△は減少)	13,772	△ 8,996
その他の負債の増減額 (△は減少)	16,036	△ 9,166
小計	345,884	239,290
利息の受取額	526	163
利息の支払額	△ 2,451	△ 1,810
法人税等の支払額	△ 112,482	△ 91,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,477	146,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 139,698	△ 140,873
有形固定資産の売却による収入	2,051	11,312
無形固定資産の取得による支出	—	△ 860
投資有価証券の償還による収入	—	15,000
定期預金の預入による支出	△ 36,010	△ 6,010
その他	15,171	△ 12,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 158,485	△ 134,128
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	240,000
長期借入金の返済による支出	△ 70,299	△ 68,160
社債の償還による支出	△ 21,000	△ 21,000
割賦債務の返済による支出	△ 1,296	△ 1,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 92,595	149,544
現金及び現金同等物の換算差額	△ 189	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 19,793	161,460
現金及び現金同等物の期首残高	422,065	402,271
現金及び現金同等物の期末残高	402,271	563,732

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、杭抜き事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	18,303.38 円	19,041.17 円
1株当たり当期純利益金額	2,679.40 円	771.82 円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 2019年5月31日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当事業年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益金額(千円)	126,736	36,507
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	126,736	36,507
普通株式の期中平均株式数(株)	47,300	47,300

(重要な後発事象)

該当事項はありません。